

皆様おはようございます。

本日、ここに議員各位の御参集をお願い申し上げ、令和元年第2回江田島市議会を開会するに当たりまして、御挨拶を申し上げます。

議員各位におかれましては、平素から市政運営に対しまして、格別の御理解と御協力をいただきまして、深く感謝申し上げます。

また、市民の皆様には早朝から、定例会の傍聴にお越しをいただき、心からお礼を申し上げます。ありがとうございます。

さて、昨年の平成30年7月豪雨災害から早や1年が過ぎ、復旧・復興の最中の今年の梅雨は少し短く、梅雨明けが7月25日頃でございました。そして大きな被害もなく、例年より少し遅れてやってきた夏空に安堵を覚えたところでございます。

また、9月も中旬を迎えますが、初秋とは名ばかりの残暑が続いております。

そうした中、今年の夏は、江田島市にうれしいニュースが飛び込んでまいりました。

一つは新たな日本一でございます。

7月31日に開催をされました第40回文部科学大臣杯少年少女囲碁大会におきまして、広島県代表として参加をいたしました能美中学校2年生の武島蓮君が優勝をし、中学生名人の称号を獲得いたしました。

囲碁は、日本棋院の本部のある関東や関西に強い人が多いといわれておりまして、決勝戦の相手もその関西の道場に通う生徒であり、決勝戦序盤は形成が悪く、苦戦を強いられておりました。しかしながら、武島君は終盤に訪れたチャンスを見逃さずに一気に逆転をしての栄冠でございます。

このような囲碁の盛り上がりの中、明治から昭和の時代に活躍をされ、日本棋院の理事長も務められました本市の瀬越憲作名誉九段の業績を称える「瀬越憲作展」を、11月30日から大柿町歴史資料館におきまして開催する予定でございます。

うれしいニュースのもう一つは、新たなプロ選手の誕生でございます。

江田島市の売りの一つにサイクリングがございます。今では、そのサイクリングを楽しんでいる人を見かけない日はないくらい日常となっております。

そのサイクリングと同じく自転車を使う競技がございます。いわゆる「競輪」で、その中でもガールズケイリンと称しまして、女性が競輪選手として活躍するものがございます。そのガールズケイリンに、本市の吉岡詩織さんが、7月12日にプロデビューを果たしました。和歌山競輪で行われました、そのデビュー戦におきまして、予選から決勝まですべて1位を取って優勝する「完全優勝」で、初出場、初勝利、初優勝を飾ったものでございます。

吉岡選手は、能美中学校や高校では陸上競技をし、陸上自衛隊を経て、競輪選手となりました。江田島市から誕生した新たなプロ選手が、一線級相手に果敢な

スタイルで互角の勝負を挑んでいく、その姿に期待をしているところでございます。

そして、惜しまれながらも、今年6月にバレーボール選手を引退されました栗原恵さんがサプライズで、8月11日に開催をされました「江田島市スポーツセンター杯小学生バレーボール大会」に来てくださいました。

栗原さんの賛同によりまして、この大会は「MEGU DREAM CUP」としての開催となり、栗原さん御自身が準備をしてくださいました優勝カップの授与までもしていただいたものでございます。

栗原さんからは「今後も江田島市に協力をしていきたい。関わっていきたい。」とのお話をしてくださり、本当にありがたく思っております。

このように、囲碁の世界でも、競輪の世界でも、そしてバレーボールの世界でも、その道を究めること、それを続けていくことは大変なことだと思っております。しかしながら、常に興味を持ち、コツコツと念じるように粘り強く努力をすることで、その才能を開花させることができるものでございます。

そして、どの競技におきましても、全体を見直し、展開を読み、できる限りの力で臨んでいくことが大切でございます。

それは市政におきましても同様でございます。江田島市の現状や取り巻く環境を常に俯瞰の目をもって把握をし、未来を見つめ、その先に何があるのかを考え、そして本市にとりまして最善の「次の一手」を打っていく。こういうことだと思っております。

私は、平成28年12月5日に第3代の江田島市長にさせていただきまして、8月末で千日を超え、本日で1010日目となりました。その間、数多くの、そして様々な計画を立案し、また実行をしまいいりました。そして、今も、今後も江田島市の未来に向けて、多様な「次の一手」を繰り出してまいりたい、そして、「持続できる江田島市」、「存在感のある江田島市」を目指してまいりたい、このように考えております。

議員各位の一層の御支援と御協力をお願いいたします。

さて、今議会では、江田島市保育園条例等の一部を改正する条例案など、当面する市政の重要案件につきまして御審議をお願いすることといたしております。

これら各案件につきましては後ほど御説明を申し上げます。何とぞ十分な御審議をいただき、議決を賜りますようお願いを申し上げます。

それでは、6月開会の定例会以後の市政の主な事柄（ことがら）につきまして、主なものを報告させていただきます。

市政報告書1ページの中ほど、2項目めでございます。

「江田島市戦没者追悼式について」でございます。

8月21日、農村環境改善センター（わくわくセンター）におきまして、江田島市戦没者追悼式を開催いたしました。

この戦没者追悼式は、先の大戦で戦死をされました戦没者の方や、空襲や原爆で亡くなられた方を追悼するため、市の主催によりまして、毎年厳かに実施をしているものでございます。

昨年からは、若い世代の方に戦争を伝えていくため、市内の中学校生徒8人に参列をしていただきまして、代表2人の方が「平和の誓い」を読み上げました。

当日は、約200人の御遺族、御来賓、学校関係者の皆様や市関係者が参列をし、「江田島市戦没者之霊」に献花をいたしまして、戦没者の御冥福をお祈りするとともに、恒久平和の実現への誓いを新たにいたしました。

以上で、報告を終わらせていただきます。